

各種施設用手すり はね上げ式手すり

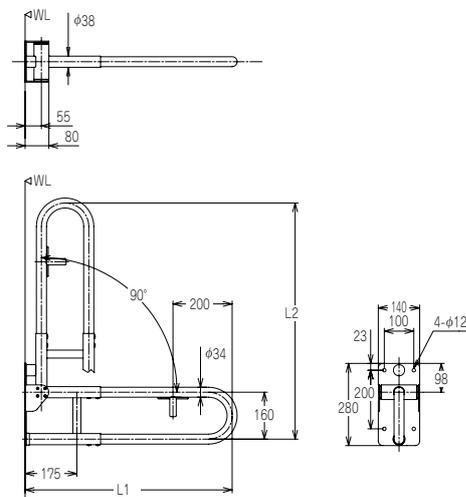
KF-471EH60 KF-481EHP70
 KF-471EH70 KF-481SH70
 KF-481EH60
 KF-481EH70

商品の機能が100%発揮されるよう、
 本説明書の内容を十分ご理解のうえ
 正しく施工してください。

●商品図

KF-471EH60 (L1=600, L2=705)

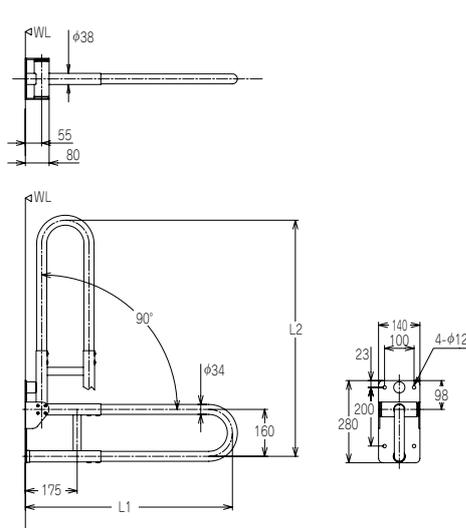
KF-471EH70 (L1=700, L2=805)



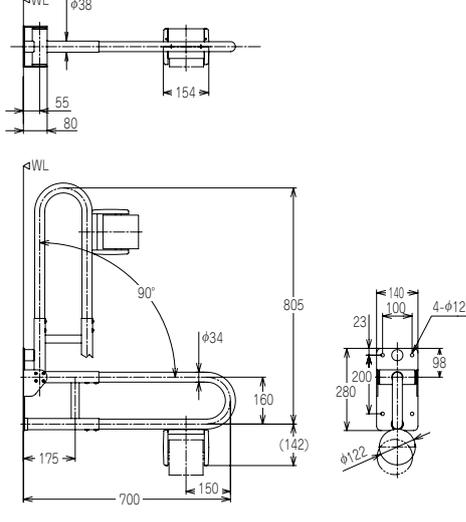
KF-481EH60 (L1=600, L2=705)

KF-481EH70 (L1=700, L2=805)

KF-481SH70 (L1=700, L2=805)



KF-481EHP70



●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

注意



注意



禁止



指示実行

……「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

……「注意しなさい!」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

……「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

……「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

! 注意

| | |
|---|--------|
| 外れたり、ガタが生じないように、強固に取り付けてください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。 | ! 指示実行 |
| 取付面が薄壁の場合は、事前に補強木(合板なら45mm以上、角材なら75mm以上)を設けておいてください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。 | ! 指示実行 |
| 取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、AYボルトを使用してください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。 | ! 指示実行 |
| 必ず施工説明書の指示どおりに施工してください。 ※誤った施工方法をされた場合、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。 | ! 指示実行 |
| 浴室など手すりに直接水がかかる場所への取り付けはしないでください。 ※取付壁の裏側に浸水し、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。 ※故障し可動しなくなる恐れがあります。 | ! 指示実行 |
| 取付壁に突起や不陸がないことを確認してから施工してください。 ※壁に突起や不陸があると、手すりの操作荷重が重くなったり、取付後のガタが発生する恐れがあります。 | ! 指示実行 |
| ±1度以上傾いた壁に施工しないでください。 ※手すりをはね上げても勝手に下がってきたり、はね上がった恐れがあります。 | ! 指示実行 |
| 落したり、硬いものをぶつけないでください。 ※商品が破損して、ケガをする恐れがあります。 | ! 指示実行 |
| 紙巻器部に手をつかないでください。 ※商品が破損したり、ケガをする恐れがあります。 | 禁止 |
| 紙巻器を同梱の手すり以外に取り付けしないでください。 ※商品が破損したり、ケガをする恐れがあります。 | 禁止 |
| 紙巻器は取付位置を前後左右に変更することができません。手すりに穴を開けないでください。 ※商品が破損したり、ケガをする恐れがあります。 | 禁止 |
| 便器前方に横渡して施工し使用しないでください。 ※ロックバーに手が届かなくなるなど、使い勝手が損なわれることがあります。また、万が一手すりが不意に自重で降りてきた場合に頭に当たりケガをする恐れがあります。 | 禁止 |

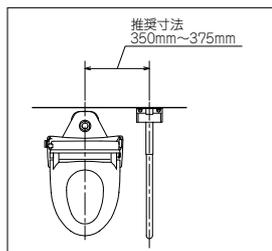
落下事故防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の取付条件を守り、後述の「●固定方法」に従って、固定してください。

- 石こうボード等のボード張りには、直接施工することはできません。必ずあらかじめ壁裏に補強木や取付プレートを入れて補強し、セメント仕上げ等の硬い壁に取り付けてください。
- 補強木や取付プレートは柱または筒柱または床、天井などの建築側の躯体に固定してください。
- ALC板やコンクリートブロックそのものには取り付けできません。
- 木ずり下地、ラスボード下地への取付けは乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に補強木や取付プレートを入れ、補強してください。
- その他各種工法の壁への取付けは、後述の「●固定方法」を参照の上、適切な方法で行ってください。なお、中空壁への施工はできませんので、かならずモルタル等を充填すると共に、適切な方法で補強をしてください。

- 紙巻器付の場合は、施工完了後、紙巻器を取り外してご使用いただくことはできません。紙巻器を取り外すと、手すりが常にはね上がる状態になってしまいます。(機構部は、手すりと紙巻器を合せた重さに合せた専用構造になっています。)

●施工前のご注意

- 取付前に、取付壁に突起や不陸がないことを確認してください。
- 油などの汚れが付着した手で手すりを握らないでください。
※汚れがとれなくなる恐れがあります。
- 手すり施工には別売の施工部材をお使いください。
- 紙巻器施工には紙巻器に同梱の取付ネジをお使いください。
- 紙巻器施工前に手すりが取り付けられていることを確認してください。
- 便器中心から手すり中心までの距離の推奨値は次の通りです。



●施工方法

1. 現物あわせにて、取付位置を決めます。
※上部手すり芯が指定の高さ(一般的には650~750mm)になるようあわせませう。
※施工にはレンチをお使いいただき、本体を傷つけないようご注意ください。
2. 以下の「●固定方法」に従って手すりを壁に固定します。

●固定方法

施工部材は別売です。壁の状況にあわせて選択し、別手配してください。

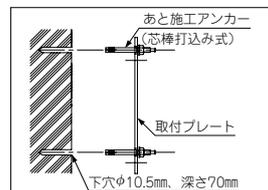
| | | | |
|---|---|---|---|
| KF-D10 取付プレート φ12穴 ※KF-D17(1P)やAY-68で固定するときなどに使います。 定価：¥3,100(税抜) | セット内容： 取付プレート 1枚 M10×1.5 ※KF-D33をねじ込むときに使います。 | KF-D17(1P) あと施工アンカー (芯棒打込み式) セット M10×1.5 定価：¥950(税抜) | セット内容： あと施工アンカー (芯棒打込み式) (M10) 1本 袋ナット (M10) 1ヶ ワッシャー (呼び10) 1ヶ スプリングワッシャー (呼び10) 1ヶ |
| KF-D32 あと施工アンカー (本体打込み式) セット M10 定価：¥450(税抜) | セット内容： あと施工アンカー (本体打込み式) (M10) 2ヶ | KF-D33 全ネジセット M10×1.5 L=285 定価：¥550(税抜) | セット内容： 全ネジ (M10) 2本 袋ナット (M10) 2ヶ ワッシャー 4ヶ スプリングワッシャー 2ヶ ナット 2ヶ |
| AY-68 AYボルト AYボルト (M10) 1本 定価：¥1,650(税抜) | セット内容： AYボルト (M10) 1本 | KF-D19 ハンガーボルトセット 定価：¥1,800(税抜) | セット内容： ハンガーボルト (W3/B) 4本 ワッシャー 4ヶ スプリングワッシャー 4ヶ |

【コンクリート下地への取付け例】

(1) 取付プレート固定

| | |
|---|-----------------------|
| 施工部材 ・KF-D10 1枚 ・KF-D17(1P) 4セット ・KF-D33 2セット | 現場調達部材 (なし) |
|---|-----------------------|

- ①壁を仕上げる前にコンクリート下地に手すり現物をあてて取付位置をけがきます。あと施工アンカー (芯棒打込み式) の下穴をφ10.5mmのドリルで約70mmの深さにあけます。

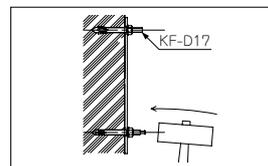


【注意】 下穴に残った粉は必ずきれいに掃除してください。
※強度が低下する恐れがあります。

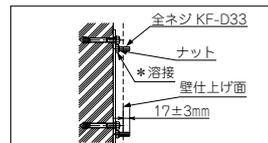
あと施工アンカー (芯棒打込み式) のねじ部を十分に残した状態で取付プレートの穴に通して、下穴に差し込んでください。

【注意】 あと施工アンカー (芯棒打込み式) は必ずコンクリート下地に40mm以上埋め込んでください。
※強度が低下する恐れがあります。

- ②あと施工アンカー (芯棒打込み式) の打ち込みピンをアンカーボルト上端に当たるまで打ち込んでアンカーを固定した後、ナットを締付けてください。

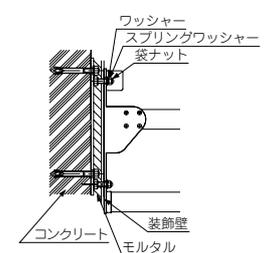


- ③取付プレートのM10×1.5の雌ねじ穴に寸切りボルトをねじ込み、ナットで締め込んだ後、溶接してください。ネジの長さは壁仕上げ面より17±3mm出た長さに調整してください。



- ④壁を仕上げた後、手すりの取付穴にボルトを通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットで強固に締め付けてください。

【注意】 中空壁には取付けできません。必ずモルタルを充填してください。
※強度が低下する恐れがあります。

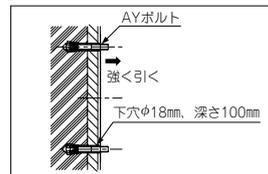


(2) AYボルト固定

| | |
|--------------------------|-----------------------|
| 施工部材 ・AY-68 4本 | 現場調達部材 (なし) |
|--------------------------|-----------------------|

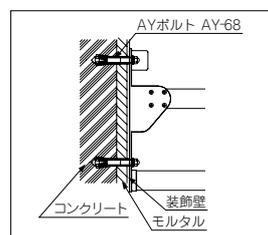
- ①手すり現物を壁にあてて手すりの取付位置をけがき、ドリルで下穴をあけます。(下穴φ18mm、深さ100mm)

- ②AYボルトを差し込んで、下穴の入り口面でゴム筒の端を押さえ、ボルト部を強く引っ張ってボルトをしっかりと固定します。ネジの長さは壁仕上げ面より15±3mm出た長さに調整してください。



【注意】 AYボルトはコンクリート下地に必ず30mm以上埋め込んでください。
※強度が低下する恐れがあります。

- ③手すりの取付穴にボルトを通し、ワッシャー、袋ナットで強固に締め付けてください。※付属のパッキンは使用しません。



【木下地への取付け例】

(1) はさみ込み固定

施工部材

- ・KF-D10 1枚
- ・KF-D33 2セット

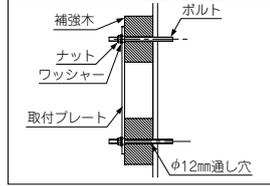
現場調達部材

- ・ナット(M10) 4ヶ
- ・ワッシャー(M10) 4ヶ

- ①手すり現物を壁にあてて手すりの取付位置を決め、φ12mmのドリルでボルトの通し穴をあけます。

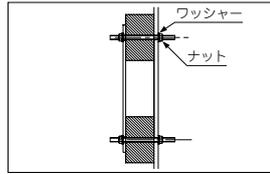
ボルトを取付プレートの取付穴に通して、壁裏から通し穴に差し込みます。

補助木：合板45mm以上または角材75mm以上



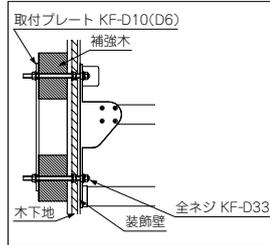
- ②壁表からワッシャー、ナットで強固に締め付けます。

ボルトの長さは壁仕上げ面より17±3mm出た長さに調整してください。



- ③壁を仕上げた後、手すりを取り付けます。

【注意】 可動手すりの場合、コーチねじでの固定はできません。
※耐久強度が不足し、ガタなどが発生して使用できなくなる恐れがあります。



【コンクリートブロック下地への取付け例】

取付プレートははさみ込み固定

施工部材

- ・KF-D10 1枚
- ・KF-D33 2セット

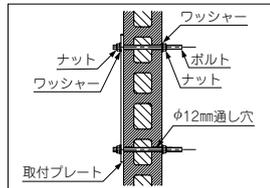
現場調達部材

- ・ナット(M10) 4ヶ
- ・ワッシャー(M10) 4ヶ

- ①手すり現物を壁にあてて取付位置をけがきます。取付プレートの外側の穴に合わせて、φ12mmの通し穴をドリルであけてください。

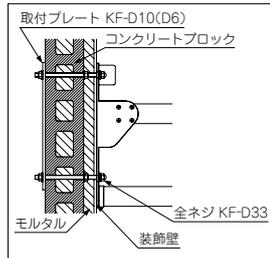
寸切ボルトを通し穴に差し込み、ブロック裏側に取付プレートをあてがって、表側よりナット、ワッシャーで締め付けてください。

ボルトの長さは壁仕上げ面より17±3mm出た長さに調整してください。



- ②壁を仕上げた後、手すりの取付穴にボルトを通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットで強固に締め付けてください。

【注意】 中空壁には取付けできません。必ずモルタルを充填してください。
※強度が低下し使用者がケガをする恐れがあります。



【GL工法への取付け例】

あと施工アンカー(本体打込み式)固定

施工部材

- ・KF-D32 2セット
- ・KF-D33 2セット

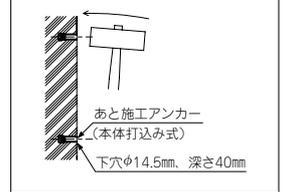
現場調達部材

(なし)

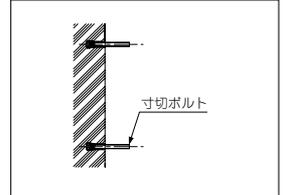
- ①手すり現物を壁にあてて取付位置を決め、φ14.5mm、深さ40mmの下穴をあけてください。

【注意】 下穴に残った粉は必ずきれいに掃除してください。
※強度が低下する恐れがあります。

下穴にあと施工アンカー(本体打込み式)を入れ、アンカーを打ち込みます。

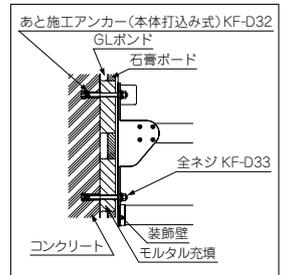


- ②寸切ボルトを取り付けた後、壁を仕上げます。ボルトの長さは壁仕上げ面より17±3mm出た長さに調整してください。



- ③手すりの取付穴にボルトを通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットで強固に締め付けてください。

【注意】 中空壁には取付けできません。必ずモルタルを充填してください。
※強度が低下する恐れがあります。



【軽量鉄骨下地への取付け例】

取付プレートははさみ込み固定

施工部材

- ・KF-D10 1枚
- ・KF-D33 2セット

現場調達部材

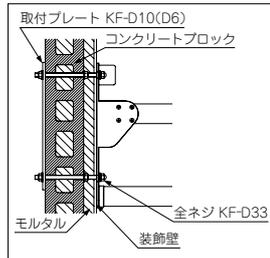
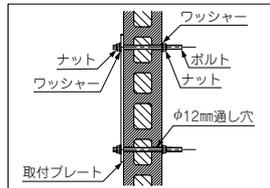
- ・t2.3mm以上の角パイプ(60×60)等

- ①軽量鉄骨などの躯体に補強用の角パイプ等を溶接し、さらに取付プレートを溶接します。角パイプ等にφ12mmの通し穴をあけて、ナットをつけたボルトを壁裏から通し穴に差し込みます。

ボルトの長さは壁仕上げ面より17±3mm出た長さに調整してください。

- ②壁の表からワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットで強固に締め付けてください。

【注意】 中空壁には取付けできません。必ずモルタルを充填してください。
※強度が低下し使用者がケガをする恐れがあります。



【軽量鉄骨下地への取付け例】

取付プレートははさみ込み固定

施工部材

- ・KF-D10 1枚
- ・KF-D33 2セット

現場調達部材

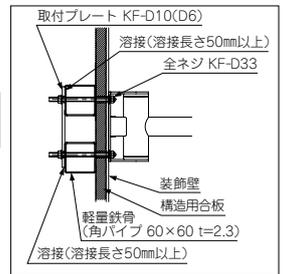
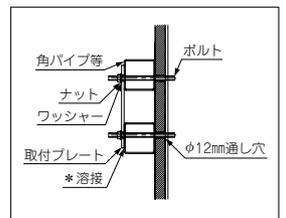
- ・t2.3mm以上の角パイプ(60×60)等

- ①軽量鉄骨などの躯体に補強用の角パイプ等を溶接し、さらに取付プレートを溶接します。角パイプ等にφ12mmの通し穴をあけて、ナットをつけたボルトを壁裏から通し穴に差し込みます。

ボルトの長さは壁仕上げ面より17±3mm出た長さに調整してください。

- ②壁の表からワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットで強固に締め付けてください。

【注意】 軽量鉄骨(角パイプ)に取付プレートをしっかり溶接してください。



木下地への取付方法

施工部材

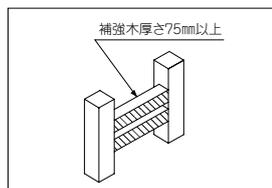
・KF-D19 1セット

現場調達部材

・ナット(W3/8) 2ヶ

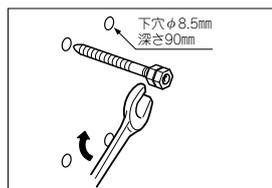
- ①手すりの固定部には厚さ75mm以上の補強木(取付木)を設けてください。

注意 補強木は柱、間柱に固定してください。
また、壁仕上げ材、ボード張りの厚さは25mm以下としてください。



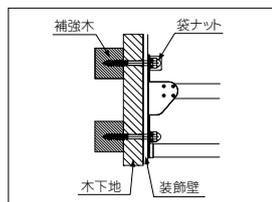
- ②ハンガーボルトの下穴をφ8.5mmのドリルで約90mmの深さにあけます。

- ③ハンガーボルトを壁に取り付けます。ハンガーボルトにナット(現場調達部材)を2個つけ、互いのナットを逆方向に締付けダブルナットとし、ナット部分に工具を掛け、壁仕上げ面からボルトが17±3mm出るように、壁にネジ込みます。



その後、締め付けたナットを外します。

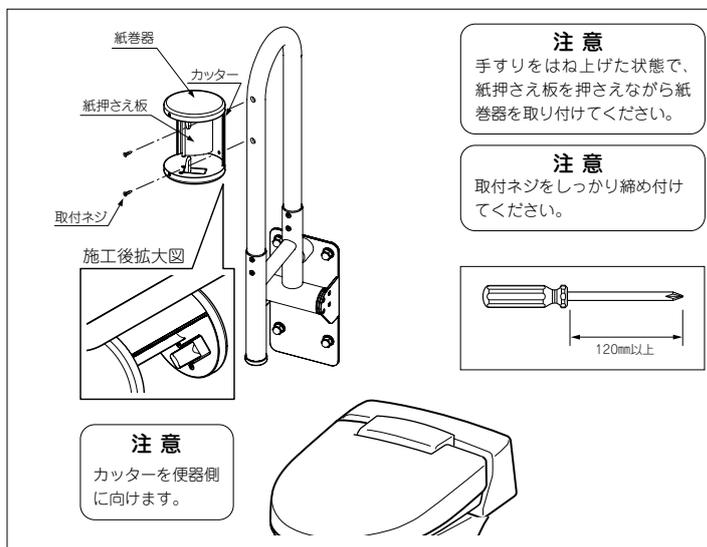
- ④手すりの取付穴にボルトを合わせて通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットで強固に締め付けてください。



〔紙巻器付の場合〕

●施工方法

- (1)あらかじめ手すりを壁面に取り付けます。
(2)LR仕様を確認し同梱の取付ネジで、紙巻器を手すり本体に取り付けます。
※ドライバーは下図の長さのものを使用してください。



●施工後の作動確認

- 施工後、取付方向が正しいか及びスムーズに動作するかについて確認してください。(操作方法については同梱のシールをご覧ください。)
- 紙巻器にガタつきがなく、しっかりと手すりに固定されていることを確認してください。
- 同梱の操作方法シールを手すり付近の壁等、見やすい位置に貼付してください。
※このシールには安全上の注意点が書いてありますので、必ず貼付してください。